

札幌雪祭り

二朗が札幌雪祭り見物に連れて行って呉れると言う。平成九年二月八日、仙台港発、小牧行き、太平洋フェリーに乗り、一等客室で出航した。

客室は洋室の四人部屋だが、私ら三人で水入らずだ。浴室から、トイレ、ベッド、着替えの寝間着迄、ホテル並みに完備している。二十時に出航した。

風呂に入り、親子和氣藹々、テーブルを囲み、買ってきたお菓子と漬物でお茶を飲み、ベッドに潜り込んだ。約十五時間の船旅である。微かに聞こえるエンジンの音が心地良い。何時しか眠りに落ちた。

目が覚めたら薄明るくなっていた。遠くに見える陸地の明りが旅情を誘う。今日は天気が良い様だ。又ひと眠りして七時頃起き出した。

朝食後船内を見物。十時四十五分、小牧に到着、下船、電車で札幌に向つ。レストランで昼食、早速札幌大通り公園の雪祭り会場に出掛けた。

見事さは筆舌に尽くせ



ない。思い出は写真だけと、撮りまくる。私と妻二人で撮った写真が多い。親子で、又一人で写したものの、風景だけの写真も結構ある。

一通りゆつくりと鑑賞後、明るいうちにホテルに入った。雪祭り会場に近い、さんでん一号館。二郎がインターネットで予約していたホテルで食事抜き素泊まり。夕食はレストラン、親子三人テーブルを囲み焼肉パーティー、私はビール、かあちゃんと二郎はジュースで乾杯、満腹後、また雪祭り会場に出かけ、夜の散策と鑑賞後ホテルに戻った。

翌日十時前にチエックアウト、小樽見物しようと電車に乗った。市街地、小樽港を見物、名物の寿司屋で昼食後、北一硝子に入り、灼熱の釜の前で、ガラス器を作る職人技を見学、シヨウルムで見事な作品を鑑賞、欲しいと思った品を買い、帰途に着いた。

帰りはJALの千歳空港十七時発仙台空港行き。約一時間の空の旅、書いて見ると過密スケジュールかと思いが、行きの船でホテル気分、雪祭り見物が目的だから、丁度よい日程であった。

二日間とも天候が良く、恵まれた旅行だった。

平成十四年十月二十九日

